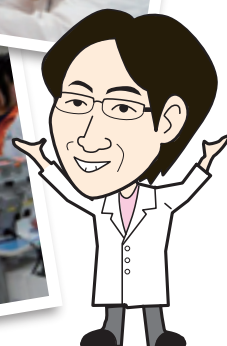




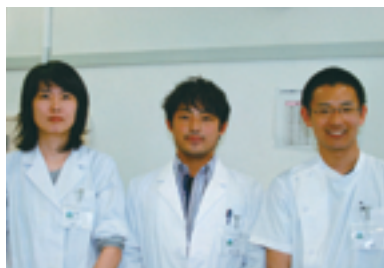
## 平成24年度新研修医オリエンテーション

平成24年度新規採用の研修医(医科43名、歯科7名)オリエンテーションが、4月2～6日に宮崎大学医学部附属病院で開催されました。研修医は、岡山センター長から2年間の研修をより良く過ごすためのアドバイスと激励を受けた後、研修プログラムの詳細な解説や診療録の書き方、症例プレゼン・コンサルテーション技法などの講義を受けました。また、卒後センター教員による医療シミュレータを用いた基本手技実習(各種注射法、動脈採血、経鼻胃管挿入、尿道バルーン留置、12誘導心電図、ガウンテクニック)や、院内全診療科の医師をインストラクターとして迎えての救急蘇生講習会(BLS、気管内挿管、薬物投与、電気的除細動、チーム医療(ALS))など、実践的な臨床基本技能の訓練にも連日励みました。最終日の夜は親睦会が開かれ、これから2年間をみんなで充実した研修生活にしていこうという熱気がみなぎり、研修医同士も強い友情の絆で結ばれました。

今回は、過去最多の研修医数ということでテレビ局も取材に来られ、研修医は自分たちへの県民の期待の高さを実感したようです。これから、大学病院を中心に県内各地の多くの医療機関でも研修をさせていただきます。医療界の将来を担う若人達に温かいご指導とご支援をよろしくお願いいたします。



### 新研修医の声



 Voice

1年次研修医

土田 真平

(写真右)

4月から宮崎大学附属病院で研修させていただくことになりました土田真平です。自分は他大学出身ではありますが、地元宮崎で日々診療に奮闘される医師の方々の姿を見て、自分も将来、宮崎県の医療を支える一員になりたいと志すようになりました。今回、宮崎で研修を積めることを大変うれしく思い、また充実した研修にしていきたいとも思っています。

しかし、自分は未熟であり、日々の診療から学ぶことは数多くあると思います。少しでも成長できるように真摯に研修に取り組み、その成長を皆様に還元できるように努力したいと思っております。いろいろとご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしく願います。



 Voice

1年次研修医

川越ほずみ

(写真右から2番目)

3月下旬、春の訪れを感じながら、医師国家試験の合格通知を受け取りました。家族を始め、それまで沢山の方々に支えていただき、感謝の気持ちで胸がいっぱいになると同時に、4月から医師として大切な命を支えることへの責任を感じています。

これから先、医師として、数多くの困難に直面すると思いますが、一つ一つ病態生理を確認しながら、先生方のご指導のもと解決していき、そして何より、患者さんの立場に立って考えるという初心を忘れずに取り組んでいきたいと思っております。生まれ育った温かい宮崎へ恩返しができるよう、日々自己研鑽していきます。



# 協力型臨床研修病院・研修協力施設・本院診療科 紹介

## 協力型 メディカルシティ東部病院(都城市)



平成22年11月より協力型病院として、1年次の外科・救急研修を行っています。中規模病院(132床)のため、他科(循環器科、消化器内科、整形外科、放射線科、ICU等)との連携がよく、希望があれば、研修期間中に麻酔を含め、外科・救急以外の症例も多数経験することができます。またやる気があれば、気管内挿管、IVH、ドレナージ等、様々な手技や検査を経験することができます。3名の研修指導医を中心に、病院全体で皆さんをバックアップします。

## 協力型 野崎東病院(宮崎市)



本院は、内科、泌尿器科、整形外科、放射線科を標榜する病床数96の病院で「人間愛・郷土愛・病院愛」を理念に地域に貢献する医療機関を目指しています。

本院の特色としては外来診療はもとより手術に於いては顕微鏡・内視鏡・レーザーを用いた整形外科・泌尿器科・内科が特色として掲げられます。最新の医療器械と知識・経験豊富な指導医のもとで研修に参加してみませんか。

## 協力型 医療法人同仁会 谷口病院(日南市)



本院は、精神科・心療内科・内科・脳神経外科・整形外科を標榜する病床数310の精神科を主体とした病院です。「よりよい環境」のもとで「より質の高い医療」を提供し、地域に密着した医療拠点として皆様に満足していただける病院づくりを心がけています。

経験豊かな指導医のもとインフォームドコンセントを含め、どの診療科でも重要となる患者さんや家族とのコミュニケーション能力の向上を目指し、短期間ではありますが精神科面接の基本を学んでいただけます。

## 協力施設 赤十字血液センター(宮崎市)

赤十字血液センターでは、献血ルームでの献血者の検診業務が主で、移動献血の検診では、県内各地を巡回します。

また、1泊2日で久留米の九州血液センターで血液製剤の調整・検査内容等の研修も行っています。

研修では、検診業務と事故対応の模擬検診や輸血検査の実習、薬事法関連等盛りだくさんのプログラムを用意しています。



## 本院 第一外科

第一外科(腫瘍機能制御外科)は、消化器外科、乳腺甲状腺外科、小児外科を担当しています。消化器外科は、肝胆膵グループと消化管グループに分かれてより専門的に診療を行っています。



関連病院で心臓血管外科、呼吸器外科の症例を経験することができ、最速で外科専門医を取得できるシステムとなっています。来年には日本消化器外科学会総会を教室が主催します。外科に興味のある研修医の皆さん、お待ちしております。

## 本院 放射線科



現代の医療において放射線診断はほとんどの疾患の診断から治療方針の決定および結果の評価まで、放射線治療は悪性腫瘍の治療法として欠かれません。放射線科では臓器および方法別に分かれたグループ毎に診療・教育・研究に従事しています。幅広い疾患分野で病変の画像化について勉強することが可能です。病変や様々な現象を可視化し疾患の理解を深める経験はきっと皆さんの役に立つと思います。そんな世界をちょっと覗いてみませんか。皆さんの参加をお待ちしています。





# 卒後臨床研修センター修了式



平成23年度の研修修了生を対象に、卒後臨床研修センター修了式が3月26日に開催されました。医科25名、歯科6名が卒後臨床研修を修了し、修了証を手に入れました。また、同時に研修医が選ぶベスト指導医賞の表彰式も行われ、受賞した感想や修了生への激励の言葉などが語られました。新たな環境でも、更なる活躍が期待されます。

## 平成23年度 第7期生が選ぶベスト指導医賞

順位	氏名	所属病院
1位	長野健彦	宮崎善仁会病院
	岩切弘直	都城市郡医師会
	中村禎志	潤和会記念病院
4位	菊池正雄	宮崎大学 第一内科
	田代耕盛	県立日南病院

## 宮崎大学研修修了後の進路

	平成17年度 修了者	平成18年度 修了者	平成19年度 修了者	平成20年度 修了者	平成21年度 修了者	平成22年度 修了者	平成23年度 修了者
宮崎大学・大学院	30	16	18	19	29	25	21
宮崎県内病院	4	2	2	2	1	0	1
県外大学・病院等	2	8	3	5	6	9	3
合計	36	26	23	26	36	34	25

## 修了者の声



2年次研修医

佐藤 智代

(写真左真ん中)

研修医期間中は熱き指導医の先生方、良き同期、そして卒後の先生方・スタッフの方に支えていただき、非常に充実した研修を送ることができました。私は医学部に入学するきっかけとなった夢を叶え、研修修了後は厚生労働省の官僚としての第一歩を踏み出すことができました。今後は行政の立場から宮崎の医療を支えていければと思います。2年間ありがとうございました。



2年次研修医

森田 雄大

(写真後列左から4番目)

2年間の研修は、宮大のプログラムを活かし、様々な地域で勉強させてもらいました。宮大研修の魅力の一つは県内各地の病院を選択できることであり、しかも自由選択期間が9か月あるため自分の興味のある診療科で研修できることにあります。僕は大学で9か月、外病院で15か月研修し、北は延岡から、南は串間までその地域の医療の現状を目の当たりにしてきました。その中で、懸命に患者さんと向き合う先生方と接することができ、それが2年間で一番の財産になったのではないかと考えています。これからは研修医の頃とは違い、責任が重くなる立場になっていきます。研修で学んだことを活かし、努力し、医療過疎と言われる宮崎で少しでも役立てていけたらと思います。



## 宮崎大学医学部附属病院群 卒後臨床研修プログラム説明会

2月10日(金)に総合研究棟において、宮崎大学医学部5年生を対象に医師臨床研修マッチングの概要、本院の卒後臨床研修プログラムの説明及び宮崎大学医学部附属病院における研修後の専門医育成について説明会を開催し、33名の参加があり、皆熱心に聞き入っていました。



## レジナビフェア 2012 in 福岡

2月26日(日)に福岡国際センターにおいてレジナビフェア2012in福岡が開催されました。昨年の夏の大阪・東京に引き続き「宮崎県の臨床研修病院」として、本院からも指導医2名と研修医2名が参加しました。宮崎県ブースには77名と多くの学生に訪問していただき、平成24年度も多くのマッチング応募に繋がるように期待しています。





# 中九州三大学病院合同専門医養成プログラム

平成24年2月22日に京都大学医療疫学の福原俊一教授をお招きして、臨床研究に関する特別講演会を行いました。本学からも初期研修医を含め多数の参加があり、改めて臨床研究へのニーズの高さが実感されました。臨床的課題を発見するのは現場の医療者であること、その課題から質の高い研究を行うことの重要性等、短い時間で多くのことを学ぶことができました。

平成24年度で本プログラムは最終年度を迎えます。今後も10の連携診療科では合同カンファレンスやセミナー等が多数開催される予定ですのでご参加・ご協力のほどお願い致します。



## 行事案内

4月	2日(月)~6日(金)	平成24年度 研修医オリエンテーション
	26日(木)	救急部と卒後臨床研修センターのコラボレーション企画in宮崎大学
5月	13日(日)	九州ブロック初期・後期臨床研修進路説明会(福岡)
6月	15日(金)	平成24年度医師臨床研修マッチング説明会 6基幹型病院説明会
	21日(木)	平成24年度医師マッチング登録開始
	26日(火)	平成24年度歯科医師マッチング登録開始
7月	1日(日)	レジナビフェア2012 in大阪
	15日(日)	レジナビフェア2012 in東京
	未定	保険診療説明会/新研修医祝賀会
8月~9月		マッチング面接(予定)

「最新の救命救急医療  
~重症外傷をいかに救うか~」  
 演者: 日本医科大学千葉北総病院  
 救急救命センター  
 准教授 松本 尚先生  
 場所: 臨床講義室 205号室

## 先生紹介



卒後臨床研修センター教員  
西村 征憲先生

平成23年11月から卒後臨床研修センター配属となりました。平成14年、島根医科大学を卒業し今年で医師としてのキャリアが11年目になります。皆さんを指導、教育するには技術、知識ともに不十分な点もあるとは思いますが一緒に勉強して行きましょう。困ったことがあったらいつでもご相談ください。よろしくお願いいたします。

宮崎大学 医学部 総務課 卒後臨床研修係 (内線: 2385/2386)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200  
TEL:0985-85-1864 / FAX:0985-85-3101  
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp